

狩川地区地域行動計画

(ダイジェスト版)

将来像

自然と共に笑顔あふれる
住みよいまち 狩川

基本目標

おもいやりにあふれ、
共に支えあう 狩川

合言葉

さあいこう！
未来の夢を風にのせて



私たちは令和4年9月から1年間かけて、狩川地区の地域の課題を抽出し、その診断内容に沿って、「将来像・基本目標・合言葉」を紡ぎ出し、地域ビジョンを作成しました。

ここに示す内容は、みんなが望む将来像の実現のための、令和6年からの5年間の地域行動計画です。

みなさんの理解と協力で、住みよい楽しい地域にしていきたいと思います。



夕暮れの稲

立川小学校6年 宇田優和さん

令和6年2月

庄内町狩川地区地域ビジョン策定委員会



具体的な行動と年次計画

△調査・研究 ○試行・検証 ◎実施・継続 ◇修正・見直し

経営分野

豊かに人がつながる安心安全なまちづくり

施策の柱	具体的事業	R6	R7	R8	R9	R10
● 住民の心つながる安全・安心の地域づくり ① 住民の防災意識を高め、互いに助け合う地域をつくりまします。 ② 災害時の連帯意識の高揚を図り、災害に強い地域を目指します。	・防災研修会の開催 (災害歴・避難ルート・定期点検・周知の徹底等)	△	◎	◎	◎	◇
	・災害弱者支援の体制づくり	△	◎	◎	◎	◇
	・防災訓練の実施 (近隣の状況把握・避難方法の共通理解など)	△	◎	◎	◎	◇
● みんなが活躍できる体制と機会づくり ① 若者が活躍できる場の創出と、地域の住民それぞれの出番づくりを推進します。 ② 自治会や地域づくり活動を担う次世代の人材育成に取り組みます。	・フェスティバルなどのイベントで新規の人材、出番づくりを推進	△	○	◎	◎	◇
	・若者の企画や募集によるイベント等の開催	△	○	◎	◎	◇
	・集落推薦の人材による事務局体制充実(リーダーの発掘)	△	○	◎	◎	◇
● 誰もが住みたくなる地域づくり ① 住みやすい地域、住み続ける地域を目指し、住民の地域づくりに対する想いを汲み上げ、生活に根差した課題解決に取り組みます。 ② 外との交流を活性化し、住みたくなる狩川を目指します。	・住み続ける、住みたくなる狩川ワークショップの開催	◎	◎	◇	◎	◇
	・他地区との交流事業の開催 (旅行会社等と連携し、雪合戦や農業体験など)	△	○	◎	◎	◇

環境分野

未来に託せる地域環境づくり

施策の柱	具体的事業	R6	R7	R8	R9	R10
● 環境にやさしい美しいまちづくり ① 3R(リデュース・ごみを減らす、リユース・繰り返し使う、リサイクル・再利用)活動を実践し、SDGsに取り組みまします。 ② 環境保全の住民意識高揚を図ります。	・ゴミの減量と部分マナー、リサイクルの意識向上活動 (研修会など)	△	○	◎	◎	◇
	・資源リサイクルステーション設置	△	△	○	◎	◇
	・不法投棄の防止対策 (看板設置等)	△	○	◎	◎	◇
	・リサイクル情報とフリーマーケット開催	△	○	◎	◎	◇
● 環境保全と意識高揚 ① 空き家・空き地の増加による危険防止と安全・安心なまちづくりに取り組みまします。 ② 行政機関と連携した鳥獣被害対策を推進します。	・空き地・空き地点検パトロールの強化	△	○	◎	◎	◇
	・有害鳥獣駆除対策の仕組みづくり	△	△	◇	◎	◇
● 緑豊かなまちづくり ① 豊かな緑を守り、自然保護活動や美化活動などで、美しい狩川を目指します。 ② 地域住民によるカラフル(色鮮やか)で潤いのあるまちづくりに取り組みまします。	・花いっぱい・あいさつ運動の推進	◎	◎	◎	◎	◇
	・春・秋環境整備作業の励行・推進	◎	◎	◎	◎	◇
	・楯山公園の美化活動の拡充	△	○	◎	◎	◇

福祉分野

想いを話し、想いを叶えるまちづくり

施策の柱	具体的事業	R6	R7	R8	R9	R10
<ul style="list-style-type: none"> ● いきいきと自立して暮らせる地域づくり ① 住民が健康で自分らしく地域の中で暮らし続ける地域づくりを目指します。 ② 高齢者の孤立をなくし、いきがいと潤いを感じられる地域づくりを目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知力・体力を知る機会の提供(百歳体操など) 	△	○	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の小さななりわいマルシェ(市場)の開催 	△	◎	◎	◎	◇
<ul style="list-style-type: none"> ● 互いに意見の言える地域づくり ① 隣組や自治会内のコミュニケーションを活発化し、互いに助け合う地域づくりを目指します。 ② 高齢者を対象とした特殊詐欺対策、高齢者の防犯意識の高揚に努めます。 ③ 子どもや高齢者の見守りを地域ぐるみで推進します 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱の設置(広報などの活用) 	◎	◎	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者への見守り(訪問)活動 	△	○	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の除雪等の支援体制づくり 	△	○	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊・声掛け隊の結成 	△	○	◎	◎	◇
<ul style="list-style-type: none"> ● 複合施設を活用した交流と居場所づくり ① 子どもから高齢者まで気軽に交流できる拠点づくりに取り組みます。 ② 高齢者の居場所づくりを拡充し、孤立化と認知症の対策に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設に居場所づくり(サロン等) 	△	◎	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座・サークル活動等 	◎	◎	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・各集落で茶話会などの交流会開催 	△	○	◎	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりや世代間交流の場づくり 	△	○	◎	◎	◇

教育分野

世代を越えて共に学び合い、ふるさとを誇りに思える人づくり

施策の柱	具体的事業	R6	R7	R8	R9	R10
<ul style="list-style-type: none"> ● 生きがいと郷土愛を育む生涯学習の推進 ① 生涯学習を推進し、地域はすべて学びの教室であるというコンセプトのもと「学ぶ・遊ぶ」拠点を拡充していきます。 ② 「学校教育・家庭教育・社会教育」の連携・協働により郷土愛豊かな人材育成を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育事業の推進と学習拠点の拡充 	◎	◎	◇	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・男性中高年のための研修会(男塾)の開催 	○	◎	◇	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAや学校、地域と連携した講座世代間交流研修会の開催 	△	○	◎	◎	◇
<ul style="list-style-type: none"> ● 未来を担う地域リーダーの育成 ① 将来のリーダー育成のための講師の招聘や研修会の開催、実践の場づくりに取り組みます。 ② 少年期から地域との関りを持ち、互いに成長できる豊かな人間関係を育みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり研修会、まちづくりセミナーの開催 	◎	◎	◇	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・金管バンド活動を通し、地域とのふれあい活動などの推進 	△	○	◎	◎	◇
<ul style="list-style-type: none"> ● 一人ひとりがつながり、思い出あふれる地域づくり ① 子どもたちがのびのびと地域で遊び、学べる環境をつくりまます。 ② 交流の場を拡充し、住民の生きがいづくりを推進します。 ③ 地域内の有形、無形の資源をつなぎ、歴史から未来につながる学習環境をつくりまます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業(青空広場)の実施 	◎	◎	◇	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加の生きがいづくり事業の推進(フェスティバル、スポーツ大会など) 	◎	◎	◇	◎	◇
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学習で人がつながり、未来に誇れる地域資源の発信 	△	○	◎	◎	◇

施策の柱	具体的事業	R6	R7	R8	R9	R10
● ICTを活用した積極的な情報収集と発信 ① 地域特産の情報発信や新しい産業につながる情報収集に努めます。 ② WEBショップやマルシェの開催など、住民所得の向上に取り組みます。	・ICTを活用し積極的な情報の受発信	△	△	○	◎	◇
	・複合施設を拠点とした商品販売と情報発信	△	○	○	◎	◇
	・情報ツールの活用先進事例の研究と交流の促進	△	△	○	◎	◇
● 自然の恵みを活かした産業おこし ① 伝統作物や山菜等の自然食を活用した農業の6次化を目指します。 ② 農業青年や地域の若者による交流の活性化と若者が関わるコミュニティビジネスを推進します。	・自然の恵みを活かした6次製品の研究開発	△	△	○	◎	◇
	・都市部では珍しい素材を活用した新たな食文化の創出	△	○	○	◎	◇
	・オーナー制度等のウェブ発信による活性化を推進	△	○	○	◎	◇
	・規格外食材を活用した無人直売所の経営	△	△	○	◎	◇
● 農地の有効利用や外との交流人口の拡充 ① 耕作していない農地等を活用したイベントや賑わいづくりを推進し、地域内のネットワークを活かした外との交流人口を拡充していきます。	・体験農園(ブルーベリー・ラベンダー等)を活用した交流促進	△	△	○	◎	◇
	・耕作していない農地を活用し、若者主体に交流を促進	△	△	○	◎	◇
	・里山・山林資源を活用した親子林業体験	△	○	◎	◎	◇

夢なきものに理想なし
 理想なきものに計画なし
 計画なきものに実行なし
 実行なきものに成功なし
 故に 夢なきものに成功なし

上記に掲げた言葉は、令和5年1月13日、ビジョン策定合同経過報告会が開催された折に、「きらりよしじまネットワーク」の高橋事務局局長より紹介された吉田松陰の言葉です。その言葉に続いて、

「やりたいことがある。

それはなぜやりたいか、

それでどうなりたいのか。

その先が見えると、やるべきことに変化する。

それは地域づくりという仕事になる。」と結ばれ、今後の取組みに期待を寄せられました。



学校の裏庭

立川小学校6年 長南龍之介さん

※ 表紙と裏表紙の絵は、「親子ふるさとカレンダー」の作品募集で、特別賞を受賞した絵です。